

大河原ロータリー

クラブ会報

例会日：毎週木曜日 12時30分
 例会場：和洋亭 ぶざん
 柴田郡大河原町字新南25-18
 TEL 0224-51-1113

会長：村上 則夫
 副会長：樽見 正仁
 幹事：佐藤 能文
 副幹事：丸山 勝利
 広報・ICO
 委員長：津田 政行
 副委員長：岩間 範男
 委員：岡崎 隆・佐藤克美・高橋大志



2017～2018年度
 国際ロータリーのテーマ

ロータリー：
 変化をもたらす

ROTARY:
 MAKING A
 DIFFERENCE

2017-18年度 RI会長 イアン H.S. ライズリー

国際ロータリー第2520地区
 2017-2018年度ガバナー 藤崎三郎助

事務所：〒989-1224 大河原町金ヶ瀬字町17 TEL0224-51-1400 FAX0224-51-1188 info@rotary-ogawara.com

2018年4月5日(木)第2457回例会

会長あいさつ

会長 村上 則夫



皆さんこんにちは、本日も例会に沢山の会員皆様の出席を頂きまして誠にありがとうございます。そして本日はゲストスピーカーとしてさくら青年会議所 36 代理理事長の齋藤貴裕様ようこそお出で頂きました、有難うございます後ほどスピーチ宜しくお願いします。私も青年会議所に加入しておりまして、今年で私も 55 歳になります 15 年前 2003 年に卒業させて頂きました、とても懐かしい思い出であります、緊張なさっている様ですがけれども、どうぞリラックスして頂いて 30 分間お話しして頂ければと思います。

そして今週の天気ですが週明けの月曜日・火曜日とも暖かい日が

続きまして観測史上 2 番目の開花という事で、私も蕾の時からインスタとか Facebook に載せて一目千本桜の広報に務めておりまして、昨日は仙台が満開の宣言をしました、大河原も満開ですが河川敷には余り人もいなかったのですが車で来たらとんでもない渋滞で例会に遅れたらどうしようかなと思いましたがなんとか間に合っただけよかったと思います。やはり人間いくら頑張っても天気には勝てないのかなと思っており、この間立石さんとお話した時にあそこの所が咲くのが一番早くて上と下などは未だ咲いていない所もあるよ、堰の所は未だ咲いていないよ、いろんなところで見えるのも時期をずらして見るのも良いのかなと思っています、大河原町としては最大のイベントです、今日実行委員長の本木さんもいらしておりますが期間中大変だと思っておりますが宜しくお願いしたいと思っております。そして今月 4 月は R I の特別月間として「母子の健康月間」となっておりますのでどうぞ宜しくお願いします、今日は月初めの例会でありますので誕生会員・結婚会員のご紹介を致します、誕生会員は 4 月 16 日吉田茂会員でございます、結婚会員は 4 月 2 日小田部晃二郎会員、4 月 4 日高橋尚敏会員、本日 4 月 5 日武藤茂会員です、おめでとうございます、すみませんケーキ用意しなくて!!あと前の話になりますが 50 周年記念式典の時には会員の皆様には本当にご協力頂きまして有難う御座いました。大河原ロータリーのホームページをご覧になって頂ければ式典の時に撮った集合写真がアップされておりますので是非ホームページの方も見て頂ければと思っております、広報委員長の津田さんをお願いしておりましたが、やはり 50 周年という事で週報の方は未だ 1 月までとなっております、多分徐々にペースアップして頂けると思っております、ホームページも津田さんをお願いをして引き継ぐ程度でという事でお話したのですが、やはり津田さん職人ですから素晴らしい思いで素晴らしいホームページを作ってくれました、今年度中に間違いなく清算しますので宜しくお願いしたいと思います。

桜の話に戻りますが私のホームページに私の会社の手前からライブカメラ WEB カメラで動画を配信して皆さ

んに見て頂ければと思っておりますのでそちらもチョット覗いて頂ければと思っております、以上でございます、有難う御座いました。

幹事報告

幹事 佐藤能文



皆さん改めましてこんにちは、さくら青年会議所の齋藤理事長様ようこそ本日はお越し頂きまして有難うございます、また会員の皆さん出席頂きまして有難うございます。この声ですがガラガラ声で風邪気味で聞き苦しいと思っておりますがご報告させていただきます、先日大河原ロータリークラブへポール型電波時計をご寄付頂きましたという事で寄付受領と御礼の手紙が届いております、それから地区大会で大会推薦表彰という事で安藤先生を推薦しましたが期間が1年ずれておりまして今回は対象外という事で連絡を頂いております。最後になりますが宮城骨髄バンクの30年度のご支援ご寄付のお願いが届いております。本日例会終わった後電波時計の所で撮影をしますと話しておりましたが今日は此の天候で花見のお客様が来ておりますので花見の期間が終わったら改めてご案内しますので本日の写真撮影はないとご理解して頂きたいと思っております。以上になります。

各委員会からの報告



50周年記念実行委員会 副実行委員長 立石博政さんより

委員会からの報告ではないのですが、先日の土曜日にさとう宗幸さんと会ってお話ししました、その時皆さんに宜しくお伝え下さいと話がありましたので皆さんに報告致します、また名刺交換した方々にはハガキで御礼を出したようです、それもお聞きしておりますので宜しくお願い致します。

米山BOXの報告 藤江裕佳里 委員長

報告の前に、今回の月信8ページにロータリーに感謝、日本に感謝という事で、2月3日に米山奨学生の歓送迎会をしました、その時の記事にグエン・ティ・イエンさんも載っておりますので是非ご覧頂きたいと思っております。それでは報告致します。

佐藤克美会員 積立てます。

森 徹 会員 積立てます。

八島幸夫会員 積立てます。

スマイルBOXの報告 森 徹 副委員長

小田部晃二郎会員 本日のスピーカーさくらJCの齋藤理事長様を歓迎致します。

結婚記念日のお祝いを頂き有難う御座いました、35周年でした。

武藤茂会員 本日、結婚記念日です。29年目になります、記念品は未だ届いていませんが、どうぞ宜しくお願いします。

八島幸夫会員 一般社団法人さくら青年会議所36代理事長齋藤貴裕様を歓迎致します。

佐藤能文会員 さくら青年会議所齋藤理事長スピーチ宜しくお願いします。

村上則夫会員 一般社団法人さくら青年会議所36代理事長齋藤貴裕様スピーチご苦労様です。

森 徹 会 員 さくら青年会議所斎藤理事長様スピーチありがとうございます。

出席の報告 **櫻井 俊寛 委員長**

出席委員長の櫻井です、4月5日の出席の報告をします、本日は24名出席で66.67パーセントです。

理事長になって思う事

一般社団法人さくら青年会議所 36代 理事長 斎藤 貴裕 様



改めまして皆さんこんにちは、本日はどうぞ宜しくお願い致します。先ずは村上会長初め大河原ロータリークラブ会員の皆様には日頃より当青年会議所に於きまして多大なるご協力とご理解を頂いております事をこの場をお借りしまして御礼申し上げます、ありがとうございます。

今日、何を話そうかと思っいろいろ考えて来ましたが、ロータリークラブとの関りと云うのが実は私結構昔からありまして、私の叔父が名取ロータリークラブに入会していまして今は亡くなられて息子さんが入会しておりますけれども、渋谷材木店という会社がありますが、そこの前社長は私のお爺さんと従妹同士という関係で結構ロータリーの集まりには昔から時々連れていかれ少し関りを持たせて頂きました、この度理事長になって思う事との話ですが、この様な場所でスピーチをするのもJ Cには修練と云うものがありますが、これも修練の一つなのかなと思ひながら本日は何かしら聞いて頂

いた方々に聞いて良かったなと思える様な話をさせて頂きたいと思っております、最近2年ぐらい前から地元で中学生を対象にキャリアセミナーと云うものを開催させて頂いておりますけれども、そのキャリアセミナーを行っていく中で最近凄く思う事がありまして子供たちに最初に聞くことが、例えば将来の夢とは何ですかという事をよく聞きます、その中で子供たちが将来の夢と云うのが実はあまり考えた事が無いという現状があるのではないのかなと一寸感じておりました、一寸お聴きしたいなと先輩方に対して大変失礼かもしれないのですが、今ご自身で明確な夢とかその様な事をお持ちの方はどれくらいおられますでしょうか？岡崎先輩宜しかったらお応え頂いても宜しいでしょうか、「子ども達が地元で育って地元で就職出来る様なものを作って、そこに勤めて生業が出来る様なその様な町にしたなと思ひます」素晴らしいです本当に有難うございます、その夢と云うものに対して子ども達の夢と云うものを教えるのは誰なのかと最近考える様になりまして、今年理事長という職を頂く際にそれに対して一寸向き合わせて頂きました、今日はその様な話をさせて頂きたいと思ひます。

私の小さい頃実家が農家をしていましたので、昔から夢と云うものを意識していなかった、何故かと云うと普通家に帰れば農家の長男だからとか、親戚に関しても家が農家だからそれを継ぎなさいとか、その様な教育ではないですけれども、周りの環境と云うのもありまして中々その夢と云うものを持ち辛い環境にあったのかと思ひました、その様な中で何故考える様になったのかと云うと、高校生の時にアメリカに行く機会がありまして、一旦今まで自分のして来た事から少し離れた環境で見つめ直す時間がありまして、その中で2年間仕事をさせて頂いたのですけれども、その仕事をする中で一緒に住んでいたメキシコ人がいまして、その方は自由な生活をしていて、例えばアメリカに来る目的は出稼ぎで来て半年間働いたらメキシコに帰って暮らすというのが生活の繰り返しなのですね、半年働いたら半年遊んでいる様なものです、その様な事をよく話します、その半年間の間も働いたらと話しました時にメキシコ人は働く時間より家族と一緒にいる時間とか自分たちの時間を大事にする人種と云いますかその様な方々でした、そこで自分の価値観と云うものが凄く変わりました、2年経って日本に帰って来た時に農家のイメージと云うのが凄く嫌だったのですね、朝から晩まで働いて休みは無いし、その様な環境が何処でもあると思ひますが、大体いろんな方に話を聞いてもその様なイメージが強

いのかなと思いながら話していました、その様な中でその農家を継ごうと思ったキッカケと云うのがありまして、実際 21 歳の時に帰って来て自分の家業「花農家」をしていましたので、その仕事に着きました、ただどうしてもメキシコ人と一緒に暮らした期間と云うのが中々長くてその様な経験と云うものが私の中では大きかったです、家はシクラメンを作っているので 12 月の時期が終わったら 3 ヶ月休みを取って中国とか台湾の方にヒッチハイクをしに行っていました、その様な生活を 3 年位続けて 24 歳ぐらいの時に現実の事を考えて、今までの農家の中で中々お金が残らないと云うのがありまして、当時お付き合いしていた方もいましたが生活を一緒にすると云う事までは大変な事なんだなと思いながら一旦 25 歳でもう少し社会を見よう思いまして 25 ~30 歳までの 5 年間別な会社で働かせてもらいました、30 まで雇われる側の感覚が勉強になりました、それから会社の仕組みも勉強になりました、その様な事は私の中では無かった事にしてその経験を踏まえて 30 歳で結婚をして結婚と同時に今まで働いていた会社を辞めて実家の齋藤園芸に戻らせて頂きました、実は J C の話を初めて聞いたのが 25 歳の時これからどうしようか迷っている時に J C の話を聞かせ頂きました、その時は J C に対して何が良くて何が悪いのかとか、J C とはどの様な団体なのかとか、その意義すら全然感じられないまま、その時先輩方からは入った方が良いよと言われていたのですけれども、その入った方が良いよと言う意味が解らなくて取り敢えずそのまま入りませんと言って時間が過ぎました、そして 30 歳で戻って実際に自分の家業をやり始めた時にやっぱりこのままじゃだめだよなと凄く感じまして、その中で一番感じたのは当時教えて頂いた J C と云うものに対してチョット入ってみようかなと、もう一回話を聞いて見ようと思って今から 5 年前に入会をさせて頂きました、先ほどの夢の話に戻りますけれどもその 35 歳の時に入会する事のきっかけが自分の会社に対してもっと夢のある仕事をじゃないといけないのではないかと凄く感じました、例えば一般企業と比べた時に農業と云う生業は比べようと思っても中々差があるのかなと思って感じていたのですけれども、実際いろんな方と付き合ってみて最終的にはやり方なのかと云うのが凄く分ってきました、ただ扱う物が違うと云う話はあるのですけれども、本来であれば全てはやり方だけで、例えばどんな仕事でも上手くいく事、上手くいかない事いっぱいありますけれども、それと同じように農業の分野でも上手くして行けば上手く行くし、先ほど佐藤克美先輩がいましたが、克美先輩のお父さんは昔から付き合いがありまして、お父さんからは農家と一緒にいたら絶対上手くいかないと言われてました、それを思い出して J C に飛び込むキッカケがここにあります、J C に入りまして 5 年という時間が経ちまして、その 5 年の中で理事長という職が遂に回って来たなと感じますのですけれども実際私で良いのかと云う部分も感じたところでもあります、去年の今頃いろいろ思った中で先輩方から言われたのは理事長と云うものはやりたくてもやれないのだ、周りの方々とかいろんな人からやっぱりやってほしい、その様な話があって初めて受けれる仕事だと言われてまして、私昔から思っている事に対して遣らないで後悔するのなら遣って後悔した方がいいなと思って、取敢えず 1 年だし遣るしかないと思いまして理事長を受けさせて頂きました。今年所信と云うものを書かせて頂いたのですけれどもその所信の中で 1 年間遣りたい事を書かせて頂きました、特に町づくりに関してですが、青少年育成が主な事業となっていくますけれども一つひとつの事業がどうしてもさくら青年会議所の歴史を考えていくと最近発信力も弱まって来たし行っている事業も小さくなって来ているし、会員も一番多い時ですと 50 数名おりましたが今は 20 名のメンバーしか居りません、今日メンバーの親御さんの方々とか O B の先輩の居る中で話をすると云うのも大変なのですけれども、先ずその町づくりですけれども、どうしても今までの地域の流れとか何か新しい事をしようとか地域に自分たちが面白い事をしようとか何かイベントをしようとか考えていますが、今年は今までの事業を見直そうと今までして来た事業が無駄な物がある訳が無いと思っているのですが、今までして来た事業がいっぱいあると思います、例えば三町合併構想が始まった事、さくら青年会議所が発足した事、大河原青年会議所が誕生した事全てにおいて必ず理由がある、それをもう一回見直した上で今の町に必要なのかを、私たちの活動エリアは川崎まで含めて 4 町となっております、その 4 町の中で何が必要なのかをもう一度見直して、見直したものに対して行政に対して提言をしていこうという事を今年は考えております、青少年育成でございますが子どもの夢を育む事が一番です、子どもの夢を育むには何が必要なのか、例えばその夢を育む事業をやるのも一つかもしれないのですけれども、事業があった時にはその夢を育む事

が出来るかもしれませんが、しかし家に帰ったら現実的な部分で考えてしまう事もあるかもしれませんが、なので今年は先ほど夢って何ですかと聞いたのですけれどもお父さんお母さん家族皆で夢を考えていこうと、勿論お父さんお母さんに関しては確りと夢を持って頂いて子ども達にその夢を追い続ける背中を見せて欲しいなと思っております、その背中を見せるという事は中々難しいと思っておりますが現実的にいろいろ物事を考えなくては行けない中で、その夢をもう一度考えて頂いて自分たちが将来どうなりたいのか、町がどうなってほしいのか、その様な夢を追い続ける背中と云うものを私達大人が確りと見せていけるような事業・例会をさせて頂きたいと考えております、そして先ほど 35 周年の結婚の記念日の方がいらっしゃいましたが、実はさくら青年会議所も最初に大河原青年会議所が発足してから 35 年で 36 代ですけれども昨年で 35 周年となっております、その 35 年の歴史を踏まえてもう一度人数も減っている中でこれを未来に残して行く為には私たちの目的も、先ほどロータリーの歌にありましたが世界平和、私たちの最終的な目的は恒久的な世界平和の実現の為に豊かな社会を考えて行こうと言うところがありますので、私たちの大義を確りと受け継いでくれる組織にして行かないとならないと云うのがありまして 35 年を迎える中で私達も 35 周年式典を予定しております、J C の先輩方にはこれからいろいろお願いする事が多々あると思っておりますがその際は宜しくお願い致します。最後に今実際 20 名の会員で私達活動しております、年齢構成で言いますと、今年卒業が 3 名、J C は 40 歳で卒業しなくてはならないので、更に来年 2019 年には私を含めて 6 名の卒業生がいます、今 20 名ですのでこれから先新入会員をお迎え出来なければ来年には半分になってしまうと云う現実がございます。その様な中で是非息子さん等いらしたらご紹介頂きたいと思っておりますが、ただ J C に入るだけでなく、J C に入ってから魅力・メリットなど、活動して行く意義と云うものを確りと伝えて行きたいと思っておりますので、話を聞いて頂く場を設けていきたいと思っております、話をさせて頂いて一緒に活動をしたと思ってもらえる様に私達も活動をして行かなくてはならないなと思っておりますし、その様な事で若手の方が居りましたら私まででも良いですし、この地域には必ず J C を遣って来られた方もいますし今活動している方もいますので、その様な方に直接お話し頂ければと思っております。

大河原ロータリークラブに来て感じた事がありますけれども、J C と仕組みが似ていると、先ず点鐘から始まって座る位置順・前の机・演台とかこの様な場所に立つことは中々最近なくて委員長やらさせて頂いた頃は事業計画を作っていく中で上程をしていくのですがその様な経験が最近なくて懐かしいなと思いつつここに立たせて頂きました。今日来て分った事は奉仕の理想、世界平和、私たちの J C とロータリー、例えば地域にいろんな団体があると思っております、その中で目的はいろんな意味で近い遠い事はあると思っておりますが、最近思うのですけれどもその組織のしている事一つひとつは大変素晴らしい事だと思います、自分達しか出来ない事は必ず有ると思っております、ですけれども自分達しか出来ない事と相手しか出来ない事もあります、一緒になって新たな考え方が出来るのではないかなと思っております、これからの町づくりと云うものはその様な事じゃないのかなと私は思っております、例えば商工会が単独で出来る街づくり、でも商工業の為とかいろんな部分で縛りがあると思っておりますが、その様な部分で私達 J C しか出来ない事を誰かの為と云うよりも世の為人の為世界平和の為になるような、それで日本が良くなれば世界も良くなるその様な事を常に信念において活動しております、是非これからも私達 J C と関われる機会を持って頂いて、また息子さんが居る皆さんには是非 J C はどんな事をしているのか等聞いて頂きながら、私たちの活動に対して更なるご理解とご協力を頂き、そしてこれから何かしら事業が出来るのであれば一緒に行くと云うのも一つだと思いますので、いろんな手の取り合いがあると思っておりますので是非これからも協力して町を良くしていきたいと考えております。そろそろお時間となってこれ以上話が過ぎると怒られると言われて笑われましたので申し訳ありませんが、しどろもどろになったところも多々ありましたがお聞き苦しい点はお容赦ください、本日はどうもありがとうございました。

